

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	腹腔鏡下膵体尾部切除術における術前難度評価スコア (difficulty score) の有用性に対する検証研究 (C19-278)
当院の研究責任者 (所属・職位)	一般・小児・肝胆膵外科学 教授 隈元 雄介
他の研究機関および各施設の研究責任者	九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野 教授 中村 雅史 九州大学病院胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 診療講師 宮坂義浩
本研究の概要・背景・目的	腹腔鏡下膵体尾部切除術(LDP)の難度には、術式、疾患因子、患者因子、腫瘍の存在部位などが影響します。術前にこれらの因子を確認することで、患者さんにとっても術者にとっても最適な外科的アプローチを決定することができれば非常に有益である。LDP の手術難度を予測するための術前難度評価スコア (difficulty score; DS) システムが開発され、このシステムにより予測された手術難度と術後のアウトカムがよく相関していたことが報告されています。しかし、この DS システムは日本のわずか 3 施設での検証であり、日々の臨床に適用するにはより多くの症例において検証する必要があります。そのため、日本・韓国の多施設で DS システムの有用性を検証することを目的として本研究を計画しました。
調査データ 該当期間	2017 年 1 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日
対象となる患者さん	2017 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までの間に北里大学病院で腹腔鏡下膵体尾部切除術を受けられた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	電子カルテ及び紙カルテに記載のある診療記録、検査データ、手術データを利用する
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ匿名化した情報として電子的配信で提供する。
個人情報の取り扱い	研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。研究に使用する情報は 10 年間当院及び上記の他の研究機関にて厳重に保管させていただきます。
本研究の資金源 (利益相反)	資金源は日本肝胆膵外科学会、韓国肝胆膵外科協会であり、本研究に関連し開示すべき利益相反はありません。
データの利用に同意 されない場合とその 申し出の期限	この研究に関してデータの利用に同意されない場合には下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 お申し出は 2024 年 3 月 31 日までにお願いいたします。なお、同意されない場合でも診療上の不利益をこうむることはありません。
お問い合わせ先	所属・職位:北里大学 一般・小児・肝胆膵外科学 助教 担 当 者:田島弘(タジマヒロシ) 電 話:042-778-8111
備考	